

富山市総合計画審議会第2回活力部会 概要

場所：富山市役所議会棟7階 第2委員会室

日時：平成23年10月24日（月）

10:00～11:50

1 開会

2 部会長あいさつ

・本日は、第1回活力部会で出された各委員からの意見に基づき、事務局で作成した対応（案）について意見を伺い、第1回協働部会での議論を踏まえて、総合計後期基本計画の策定に向け、議論を尽くしていきたい。

3 議事

・富山市総合計画後期基本計画（案）についての意見と対応（案）について

<概要>

（委員） 総合計画後期基本計画では、地域の特性がわかるようなものを作成してはどうか。

（事務局） 概要版の作成の中で検討していきたい。

（委員） 前期基本計画の中で、凍結・休止した事業については、情勢の変化を踏まえて、事業の実施を弾力的に検討してほしい。

前期基本計画では、富山地域以外の6地域を含めて均衡ある発展を掲げているが、6地域では活力を失っているところがある。

中山間地域において、高齢化による人材不足により用水路等の維持管理が地元で行えなくなるので、そうならないよう手厚く支援すべきである。中山間地域の活性化には、定住者を増やすことが必要ではないか。

また、主な意見と対応（案）の43番について、山林の除乱伐の解決には、境界をはっきりさせることが必要である。

（事務局） 前期基本計画において凍結・休止した事業として、郷土博物館増築棟整備事業は城址公園全体の整備等を含めた問題として検討する。風力発電導入事業は、未利用エネルギー等の活用として後期基本計画（案）に盛り込んでおり、その中で検討していきたい。

6地域の活性化について、ソフト事業も含めた過疎地域自立促進計画や辺地に係る総合整備計画の策定を行っている。こうした計画に基づき、有利な起債を活用し、重点的な事業を推進している。また、田舎暮らしを希望する人

に対して、東京でのPR活動も含めて、需要がどのくらいあるのか検討していきたい。

(事務局) 中山間地域への支援について、用水路等の改修への補助率が95%から97.5%に嵩上げするなど手厚い支援を行っている。

森林整備については、間伐の費用への補助を100%としているなど手厚い支援を行っているが境界確定は難しい問題である。

(部会長) 市として、中山間地域に対する方針を後期基本計画の中に入れていく必要があるのではないかと。

また、北陸新幹線開業に関しての対応策はどう考えているのか。

(事務局) 主なご意見と対応案の46番の中で、新駅設置についての表現を追加している。また、後期基本計画案の中で、新幹線の開業について触れており、詳細については個別事業計画の中で検討していきたい。

(委員) 中山間地域については、行政コストが高いなどの問題点がある中で、市として中山間地域をどう考えているのか。

(事務局) 中山間地域について、現状の維持に努めていきたいと考えている。

合併後、中心部のみに投資してきたわけではなく、6地域においても、消防分遣所の建設、JR高山本線の活性化を行うなど力を入れてきたところである。

(委員) 人口減少社会において、中山間地域での集落の維持などは現実的には困難になってくるのではないかと。

北陸新幹線開業による富山駅周辺について、景観の保全に努め、品格のあるものにしてほしい。また、地域ブランドについて、「やくぜん」を象徴的なものとして力を入れてはどうか。

(委員) 138頁の施策の方向①「北陸新幹線の開業を見据えた富山駅周辺の都市拠点づくり」について、駅周辺から中心地区までの間に、まちなか美術館のようなものがあれば、駅から中心地区への誘導が図られるのではないかと。

(事務局) 駅周辺の景観については重点的に配慮していきたい。

北陸新幹線開業時の中心地区へのアクセスについては、セントラム等を活用しながら交通手段の誘導を図りたい。また、中心地区の賑わいづくりに向けて、ハード面のみならず、ソフト事業についても次期中心市街地活性化基本計画の中に盛り込んでいきたい。

(委員) 中山間地域への施策はどれも同じでは無理だ。地域ごとに対応を考える

ことが必要である。また、活力ある地域づくりには人づくりが不可欠である。

(委員) 234頁の「介護予防事業の改善効果のあった人数」について、予測数から予測数を引いているが、具体的な実数が出るのではないか。

(部会長) 今後、第2回協働部会が予定されており、本日の意見を報告することとしたい。また、答申案について、活力部会に関して部会長に一任していただきたい。

4 閉会

(以上)